

令和3年度 公益社団法人 川西市シルバー人材センター 事業報告

2021年の世界経済状況は、コロナ禍による半導体不足などの供給制約を主因に年後半に回復ペースが鈍化したものの、迅速なワクチン接種の進展や財政・金融政策による下支え等による年前半の急回復が効き、通年では5.9%の高い経済成長率となりました。

日本経済については、ワクチン接種の進展や経済活動水準の引き上げが欧米諸国に比べて遅れる中で、2021年9月まで緊急事態宣言等が断続的に発出されてきたことなどから、景気回復は緩やかなものとなりました。

2022年に入ってから、多くの国で確認されたオミクロン株による感染拡大やコロナ禍に伴う供給面での制約など、国内外経済へ未だに続く影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻とこれに対する厳しい経済制裁により、貿易の縮小や原油価格の高騰といった制裁の副作用が大きな下押し圧力となり、市場の混乱がさらに広がることが懸念されています。

一方、社会情勢に目を転じれば、国内ではさらなる人口減少・少子高齢化が進行しており、労働力人口の不足や地域コミュニティの衰退等が加速している状況にあることから、国は、社会保障の支え手を増やす政策を推進しています。

その一つが、就労意欲のある高齢者が70歳まで働き続けられる機会を確保するための環境整備です。令和2年3月には、就業機会の確保を事業主の努力義務とする改正法が成立し、令和3年4月1日から施行されています。

このように、一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大に加え、会員確保の困難さが増すなど、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）を取り巻く環境は、さらに厳しさを増しています。

このような情勢の中にあっても、生涯現役社会の実現に向け、高齢者の雇用と社会参加を促進するため、シルバー事業をさらに発展させ、地域の期待に十分こたえるために、シルバー人材センターの機能強化や求人先とのマッチング機能の充実など、働きやすい環境を整備することが必要であり、シルバー事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

川西市シルバー人材センターにおいては、平成24年4月に公益社団法人へ移行してから10年が経過し、地域社会においてさらなる理解と信頼が得られるよう、会員の拡大及び請負・派遣の受注先の開拓並びに安全就業の推進等に取り組みました。

特に安全就業の推進については、令和2年度に重篤事故が発生したことを重く受け止め、様々な機会を通じて会員への啓発活動に取り組んだ結果、令和2年度に6件発生した傷害事故（請負・派遣合計）は、令和3年度は2件と大きく減少し、なかでも交通事故による傷害事故は0件でした。物損と合わせた事故総数についても、14件から7件と、半数になりました（請負・派遣合計）。

会員数については、令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない中で出張入会説明会開催を見合わせましたが、令和3年度は12月から3月までに計5回開

催したこともあり、年度末の会員数は1, 164人と前年比36人の増（3.2%増）となりました。

事業実績については、新型コロナウイルス前の水準には及ばないものの、令和2年度に複数回発令された緊急事態宣言等の影響を大きく受けた公共関連業務を中心に、令和3年度は緩やかな回復傾向を示しました。その結果、受注件数で2,776件と前年度比3.2%の増となり、就業延人員は84,038人で0.3%の増、受託事業実績と派遣事業実績の合計額は384,987千円で、11,664千円の増（3.1%の増）となりました。

令和4年度も引き続き会員の安全就業を優先しながら、就業開拓等に努めてまいります。

令和3年度の主な事業の取り組み状況は、次のとおりです。

1. 会員の確保と拡充

(1) 高齢者の就業相談を実施するとともに、会員の就業相談会を2回実施しました。

令和3年7月27日	参加者2名	シルバー人材センター会議室
令和4年2月18日	参加者0名	シルバー人材センター会議室

(2) 新規会員加入の入会説明会を、年間延べ50回開催しました。

なお、緊急事態宣言等の発令期間中は、中止もしくは感染予防に十分注意しながら開催しました。

(3) 出張入会説明会を5回開催し、計90人が参加しました。開催にあたっては、事前に市内全戸へのPRチラシを配布しました。

- ・アステホール (12月3日開催) 23名参加
- ・川西南公民館 (12月16日開催) 9名参加
- ・清和台公民館 (2月18日開催) 11名参加
- ・東谷公民館 (2月25日開催) 16名参加
- ・アステホール (3月1日開催) 31名参加

2. 就業機会の開拓と拡大

(1) 職群別事業実績（受託事業）

区 分	事 項	受注件数 (件)	就 業 延 べ 人 員 (人日)	事 業 収 入 額 (円)
-----	-----	----------	---------------------	---------------

職 群 別 内 訳	技 術 群	5	87	251,532
	技 能 群	1,027	3,250	44,180,635
	事務整理群	108	809	2,621,354
	管 理 群	38	9,599	39,792,028
	一般作業群	1,391	46,107	190,780,714
	サービス群	118	8,717	33,340,483
	合 計	2,687	68,569	310,966,746

(2) 職群別事業実績（派遣事業）

事 項		受注件数（件）	就 業 延 べ 人 員（人日）
区 分			
職 群 別 内 訳	技 術	2	662
	事 務	4	151
	サ ー ビ ス	25	4,199
	生 産 工 程	5	726
	清 掃 等	53	9,731
	合 計	89	15,469

（手数料等）

（単位：円）

センター手数料	賃金等（兵シ協）	合 計
6,779,300	67,241,913	74,021,213

注：受託事業 310,966,746 円 + 派遣事業 74,021,213 円 = 合計 384,987,959 円

- (3) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として、シルバー派遣事業及び就業開拓等に取り組みました。
- (4) 独自事業では、パソコン訪問事業及び墓清掃事業を実施し、収入額は131,556円でした。

3. 安全および適正就業の推進と徹底

- (1) 7月の「安全就業強化月間」に基づき、安全委員会による就業現場の巡回視察を令和3年7月1日に実施しました。また、安全就業推進員による安全パトロールを定期的に実施し、会員の就業に応じた安全意識の向上に努めました。
- (2) 会員の安全就業に対する意識の高揚を図るため、令和3年4月に「安全標語」の募

集を実施し、下表の作品が選定されました。

標語作品	最優秀賞	“これくらい” 思う油断が 事故まねく
	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・危険の芽 みんなで摘み取り 安全確保！！ ・無理するな 急げば危険が 後を追う ・気を付ける 心ひとつで 日々の安全 ・ハッとした 経験忘れず 事故防ぐ

(3) 会員の就業に必要な安全講習会を実施しました。なお、交通安全講習会については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中止しました。

開催日	講習名	参加者	場所
令和3年10月22日	救命救急	13名	シルバー人材センター会議室

(4) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携して、令和3年7月に「刈払機取扱業務安全衛生教育」をシルバー人材センター会議室及び明峰公民館で実施し、19名が参加しました。

4. 組織体制（会員・事務局）の活性化と強化

【会員の体制】

- (1) 職群班活動等をとおして、「自主・自立、共働・共助」への意識向上を図りました。
- (2) 会員の同好会活動により、会員相互の親睦が図られました。
- (3) 会員の知識や技能の向上を目的とした講習会等の他、高齢者が関心を抱く講習会を実施し、会員の技術力の向上等に努めました。

開催日	テーマ	講師	参加者	場所
令和3年7月21日	スマートフォン	Opzt 株式会社	13名	シルバー人材センター 会議室
令和3年10月20日	スマートフォン	Opzt 株式会社	13名	シルバー人材センター 会議室

令和3年10月29日 11月5日、12日	毛筆筆耕	会員 古賀七五三男	32名	シルバー人材センター 会議室
令和4年1月14日	メイクアップ	ポーラ宝塚中山店	14名	シルバー人材センター 会議室
令和4年1月21日	しあわせのお片付け (終活)	ルチアーナ神戸	3名	シルバー人材センター 会議室
令和4年3月17日	植木剪定	会員 田浦 豊昭	10名	湯山台運動公園

(4) 会員と就業に関する分析や検討に伴う「意見交換」を行うなど、事業運営の活用に努めました。

開催日	職群・職班名	テーマ	参加者	場所
令和4年3月22日	手刈除草班	手刈除草業務について意見交換	11名	シルバー人材センター 会議室
令和4年3月24日	機械刈除草班	機械刈除草業務について意見交換	16名	シルバー人材センター 会議室
令和4年3月29日	自転車駐輪場 整理グループ	自転車整理業務について意見交換	14名	シルバー人材センター 会議室
令和4年3月30日	植木剪定育成班	植木剪定業務について意見交換	19名	シルバー人材センター 会議室

※ なお、開催にあたっては、新型コロナウイルスが感染拡大している状況を踏まえて、家事援助グループ、公民館管理グループ、配布班の意見交換につきましては、開催中止としました。

【事務局の体制】

- (1) 平成28年度に策定した「中期計画」に掲げているチャレンジ項目等の達成に向け、計画促進のための進行管理に努めました。
- (2) 「働き方改革」への取り組みとして、職員の業務分担の見直しなどによる効率化に努めました。

5. 積極的な広報・啓発活動の展開

- (1) ホームページに「センターだより」や仕事情報を掲載するなど、事業拡大等への活用による情報発信を行い、事業の普及啓発に努めました。
- (2) 機関紙「センターだより」を年3回発行し、センターと会員との情報の共有や、安全就業への意識啓発等に取り組みました。

なお、令和3年11月で当センターが設立40周年を迎えたことから、11月号については記念号として発行しました。

第152号	令和3年8月号を発行
第153号	令和3年11月号を発行
第154号	令和4年3月号を発行

- (3) 毎年10月に全国一斉で実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動の一環として、令和3年10月15日にボランティア活動を行いました。会員19名が参加して川西能勢口駅前等を清掃し、センターのPR活動を実施しました。